

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔 図画工作 〕 種目〔 図画工作 〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [図画工作] 種目 [図画工作]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、「文化の祭典」において、児童が日頃の学習の成果を発表したり、ひろしま美術館や広島市現代美術館の利用促進事業において、児童が本物の美術作品に触れたりする場を設定する等、児童が感性を育み、豊かな情操を培う機会を大切にしている。
- 広島市小学校教育研究会図画工作科部会や指定校が行った研究授業から、本市の児童の実態として、かいたりつくったりすることが好きであり、図画工作科の学習に意欲的に取り組んでいるということが挙げられる。一方で、令和4年度全国学力・学習状況調査によると「自分の思いや考えをもとに、作品や作文などの新しいものを創り出す活動を行った」と回答した児童は68.2%（全国68.4%）であり、児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりする能力の育成には課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材の目標の示し方 ② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介 ③ 伝統と文化に関する内容の扱い
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 興味・関心を高めるための工夫 ⑤ 活動の流れやポイントの示し方
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 題材の配列や分量
<内容の表現・表記>	⑦ 活動や作品の解説 ⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 題材の目標の示し方

- 1・2年上「あそぼうよ パクパクさん」
題材の目標は「学習のめあて」として3観点で示している。
 - ・ 知識及び技能 ————— ・ あらわしたいことに あわせて きりかたや はりかたをくふうする。
 - ・ 思考力、判断力、表現力等 ——— ・ うごかして たのしい パクパクさん を かんがえる。
 - ・ 学びに向かう力、人間性等 ——— ・ パクパクさんで あそぶことを たのしむ。
- 「学習のめあて」の中で、特に大切なめあてには、赤字で下線を付している。
- 振り返りは題材ごとに、児童に問いかける形で示している。

視点② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介

- 安全に活動するために気を付けるべきことは、題材ページ及び「学びの資料」において、「!安全」として囲みを設け、イラストや写真、文章で示している。
- 各題材の上部に、主に用いる材料と用具をマークで示している。下部には、それらの詳しい使い方の参照ページを示している。
- 化学接着剤の使い方を示している。(1・2年上)
- グルーガンの使い方を示している。(1・2年下)

視点③ 伝統と文化に関する内容の扱い

- 日本各地の伝統と文化に係る作品等を示している。

1・2年上：6	3・4年上：12	5・6年上：17
1・2年下：7	3・4年下：17	5・6年下：33

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高めるための工夫

- 各巻頭に作家のメッセージと児童の活動の写真を掲載し、社会とのつながりを示している。
- 児童が発想を広げるために、「ひらめきショートチャレンジ」を設けている。
- 表紙に児童の作品を掲載している。
- 1年間で学習する内容は、目次で領域ごとに色を分けて示している。

視点⑤ 活動の流れやポイントの示し方

- 1・2年下「まどのある たてもの」

【学習のめあて】

- ・ たてものの形や、まどのあけ方をくふうする。
- ・ どんな形に切るか考えたり、どんなたてものにしようか考えたりする。
- ・ カッターナイフで紙を切ってつくることをたのしむ。

【導入の言葉】

カッターナイフで紙を切って立ててみると、たてものに見えてくるよ。まどやとびらをひらいてみたら、あっ、いいこと思いついた！さあ、どんなたてものにしようかな。

【活動の流れ】

順序を示し、活動の様子を写真で吹き出しとともに示している。

- ・ かくかくした形も いいよね。
- ・ なみなみの 形に 切ってみようかな。
- ・ 紙を 丸めて 立ててみようかな。
- ・ 紙を つけたり おりまげたりしても 立てられるね。
- ・ とびらにも のぞきまどをつくったら たのしそう。
- ・ 細い 紙を おって、空中かいだんだ。
- ・ 魚、なみ、貝のベッド。「海のたてもの」もつくれるかな。

【ポイント】

キャラクターとともに吹き出しで示している。

- ・ 切った 紙の 形から たてものを 考えよう。

- 「安全」「かたづけ」「ふりかえり」のコーナーを設け、ポイントをマークと一文で示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材の配列や分量

- 判型A4版

1・2年上：66ページ	3・4年上：66ページ	5・6年上：66ページ
1・2年下：66ページ	3・4年下：66ページ	5・6年下：70ページ

○ 題材数

- 1・2年上：造形遊び（4） 絵（7） 立体（4） 工作（7） 鑑賞（1）
- 1・2年下：造形遊び（4） 絵（7） 立体（3） 工作（8） 鑑賞（1）
- 3・4年上：造形遊び（3） 絵（7） 立体（3） 工作（8） 鑑賞（1）
- 3・4年下：造形遊び（3） 絵（7） 立体（3） 工作（8） 鑑賞（1）
- 5・6年上：造形遊び（2） 絵（7） 立体（3） 工作（7） 鑑賞（1）
- 5・6年下：造形遊び（2） 絵（7） 立体（3） 工作（6） 鑑賞（1）

○ 材料や用具の扱いは「学びの資料 用具や材料を知ろう」として5ページで示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 活動や作品の解説

○ 3・4年下「むすんで つないで」

造形遊びの活動について、写真と解説を示している。

- ・ すき間にえだが入る！この場所でやってみよう。
- ・ どんどんつないだら どうなるかな。
- ・ 長いえだをかけると、下までつながるかな。
- ・ ここにえだをかけられるよ。ここからはじめよう。
- ・ 大きなタワーみたいになってきた。次はどこに結ぼうかな。

○ 3・4年下「ほった線から はじまるお話」

作品の解説を示している。

【夜に歌う不思議なネコ】

- ・ 26×36cm
- ・ はじめにほった形がネコのしっぽに見えたので、4本のしっぽがあるネコを表すことにしました。

【ひみつのたんけん車】

- ・ 26×36cm
- ・ 地中をほり進んでいるところなので、インクの色を車の前と後ろで変えて刷りました。

【夕やけのトンボ】

- ・ 36×26cm
- ・ 夕やけの美しさをオレンジ色と黄色のグラデーションで表しました。

【夜の海にひそむ王者】

- ・ 26×36cm
- ・ いろいろなほり方をして、王者の魚を目立つようにしました。

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

- 5・6年下「不思議なとびらのむこうには」 発想を広げる「アイデアシート」を示している。
- 5・6年下「ドリームカンパニー」 作品をプレゼンテーションする場を設定している。
- 作品の見方や考え方を広げるために、「小さな美術館」というページを設け、造形的な視点を文章とマークで示している。
- 全巻に「これまでのふりかえりをしよう」のページを設定し、友達と話し合う場を設定している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材の目標の示し方

- 1・2年上「いっしょにあそぼう ぱくぱっくん」
題材の目標は「学習のめあて」として、3観点(5項目)で示している。
 - ・ 知識及び技能 ————
 - ・ ぱくぱっくんに あう かたちや いろをみつける。
 - ・ ざいりょうの つかいかたを くふうする。
 - ・ 思考力、判断力、表現力等 ————
 - ・ うごかしながら、つくりたい ぱくぱっくんをかんがえる。
 - ・ あそびながら、たのしさを あじわう。
 - ・ 学びに向かう力、人間性等 ————
 - ・ ためししながら、どんどん つくりかえる。
- 振り返りは題材ごとに、児童に問いかける形で示している。

視点② 材料・用具の取扱いと表現方法の紹介

- 安全に活動するために気を付けるべきことは、題材ページ及び「材料と用具のひきだし」において、「気をつけよう」として囲みを設け、イラストや写真、文章で示している。
- 各題材の下部に、主に用いる用具をマークで示している。その横に、それらの詳しい使い方の参照ページを示している。
- 化学接着剤の使い方を示している。(3・4年上)
- グルーガンの使い方を示している。(3・4年上)

視点③ 伝統と文化に関する内容の扱い

- 日本各地の伝統と文化に係る作品等を示している。

1・2年上：1	3・4年上：17	5・6年上：30
1・2年下：6	3・4年下：21	5・6年下：30

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高めるための工夫

- 各巻頭に「図画工作をはじめよう」のページを設定し、児童が「造形的な見方・考え方に基づいて、図画工作科で何を学ぶのかを示している。
- 児童が発想を広げるために、「図工のみかた」というページを設けている。
- 表紙に児童の作品を掲載している。
- 1年間で学習する内容は、目次で領域ごとに色を分けて示している。

視点⑤ 活動の流れやポイントの示し方

- 1・2年下「まどをあけたら」
【学習のめあて】
 - ・ いろいろな まどの かたちを みつける。
 - ・ まどの かたちを くふうする。
 - ・ まどの かたちや、あらわしたい ことを かんがえる。
 - ・ まどの かたちや さくひんの たのしさを あじわう。
 - ・ いろいろな まどを あける ことを たのしむ。
【導入の言葉】
カッターナイフで どんどん きって まどを あけよう。どんなかたちの まどが できるかな。
【活動の流れ】
活動の様子を写真で吹き出しとともに示している。
 - ・ ひらく まどだよ。
 - ・ ジグザグの まどだよ。
 - ・ まるく 立てようかな。
【ポイント】
マークやイラストとともに吹き出しで示している。
 - ・ ゆっくりと きって、いろいろな かたちの まどを あけよう。
 - ・ まどを ひらこう (どんな ふうに ひらくかな。)
 - ・ のりしろをつかって 立たせよう (小さな かみを はる。下を きって ひろげる。)
 - ・ まどから どんな せかいが ひろがっているかな。(鑑賞のヒント)
- 「気をつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」のコーナーを設け、ポイントをマークと一文で示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材の配列や分量

- 判型A4版

1・2年上：70ページ	3・4年上：66ページ	5・6年上：70ページ
1・2年下：66ページ	3・4年下：66ページ	5・6年下：70ページ

○ 題材数

- | | | | | | |
|--------|----------|-------|--------|--------|--------|
| 1・2年上: | 造形遊び (5) | 絵 (7) | 立体 (3) | 工作 (6) | 鑑賞 (3) |
| 1・2年下: | 造形遊び (4) | 絵 (7) | 立体 (4) | 工作 (5) | 鑑賞 (3) |
| 3・4年上: | 造形遊び (3) | 絵 (7) | 立体 (4) | 工作 (5) | 鑑賞 (3) |
| 3・4年下: | 造形遊び (3) | 絵 (6) | 立体 (3) | 工作 (5) | 鑑賞 (3) |
| 5・6年上: | 造形遊び (2) | 絵 (6) | 立体 (5) | 工作 (5) | 鑑賞 (2) |
| 5・6年下: | 造形遊び (2) | 絵 (7) | 立体 (3) | 工作 (5) | 鑑賞 (2) |

○ 材料や用具の扱いは「材料と用具のひきだし」として8ページで示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 活動や作品の解説

- 3・4年下「組んで 立てて つなぐんぐん」
造形遊びの活動について、写真と解説を示している。
 - ・ 体より高くなったよ。
 - ・ 中に入るとおもしろいね。
 - ・ 生えている木にもつないだよ。
 - ・ だんだんふくざつな形になってきた。
- 3・4年下「ほって すって 見つけて」
作品の解説を示している。

【ひみつの小屋】

- ・ 30×22cm

【森をたんさくするきょうりゅう】

- ・ 23×30cm
- ・ 間がさびしかったから 木をほり足したよ。

【大きなクワガタ登場!】

- ・ 36×26cm

【太陽の雨】

- ・ 24×32cm

【親子のシロクマとクジラ】

- ・ 30×45cm/うらさい色
- ・ すった後に、うらがわから絵の具で色をつけたよ。

【にこにこハート】

- ・ 30×22cm

視点⑧ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑨ 表現や鑑賞における言語活動の工夫

- 5・6年下「わたしの大切な風景」 表し方を整理する「シンキングツール」を示している。
- 5・6年下「あったらいいなプロジェクト」 作品をプレゼンテーションする場を設定している。
- 作品の見方や考え方を広げるために、「教科書美術館」というページを設け、造形的な視点を文章とマークで示している。
- アート・カードの活用や鑑賞活動を通して、言語活動を促す「アート・カードをたのしもう」を、全巻に掲載している。
- 全巻に「ともだちの さくひんを みてはなそう」「どんなことをしたのかな」「図画工作での学びをふり返ってみよう」等のページを設定し、友達と話し合う場を設定している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりする能力の育成には課題が見られる」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 日本文教出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ めあてが3観点5項目（「知識及び技能」を「知識」と「技能」、「思考力、判断力、表現力等」を「A表現」と「B鑑賞」、「学びに向かう力、人間性等」）で示されていることにより、児童に身に付けさせたい力が明確になるとともに、鑑賞の指導に重点を置くことができるようになっている。
- ・ 児童が身の回りの材料等を用いて、様々な方法で表現している写真を示すとともに、活動のポイントを吹き出し等で示しており、児童が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現する活動を行うことができるようにしている。
- ・ アート・カードの活用や鑑賞活動を通して言語活動を促す「アート・カードをたのしもう」を全学年に掲載しており、児童がゲーム感覚で楽しみながら鑑賞活動に取り組むことができる。

意見2 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ めあてを3観点（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）で示し、重点となる部分には、赤字で下線を付して強調している。
- ・ 児童が身の回りの材料等を用いて、表現している写真を示すとともに、活動のポイントを吹き出し等で示しており、児童が感性や想像力等を働かせて、思考・判断し、表現する活動を行うことができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔家庭〕 種目〔家庭〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [家庭] 種目 [家庭]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、毎月19日を、本市独自の取組である3つの「わ食」（和食、輪食、環食）を推進する日として、広島市食育推進計画において定めており、学校給食においても積極的に地場産物を取り入れる等、食生活の大切さに気付かせる取り組みを行っている。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査によると、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童の割合は95.4%（全国95.1%）、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童は52.6%（全国51.3%）であり、人の役に立ちたいとは考えているが、地域において、日常生活の中から問題を見いだして、主体的に課題を解決しようとする能力の育成には課題が見られる。さらに、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は49.6%（全国52.7%）であり、実際に、地域の人々とのつながりを実感できている児童は少ない。また、家庭生活においては、保護者の多忙感や習い事等による時間のゆとりのなさ等により、家庭で役割をもち、家族の一員として責任を果たす経験は乏しい児童が見られる。これらのことから、家族や地域の一員として、自覚をもち、家族や地域の人々と主体的に関わろうとする態度の育成については課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材のめあてや振り返りの示し方 ② 持続可能な社会につながる内容の扱い ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 家庭・地域での実践につながる工夫 ⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 題材や資料等の配列 ⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫
<内容の表現・表記>	⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- めあては、学習の流れに沿って、ステップごとに示している。
- 振り返りは、学習の流れに沿って、「ステップ〇のふり返ろう」として、児童に問いかける形で示している。

視点② 持続可能な社会につながる内容の扱い

- 「主に、持続可能な社会の視点で考えよう」と3示し、この視点で題材を作成している。
- SDGsの説明は、題材終わりに、1ページ分で扱い、関連ページを紹介している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 調理実習の事例を示している。
- 製作課題の事例を示している。
- 実習ごとに「できたかな?」として、振り返りの視点とチェック欄を設け、児童が自己評価できるようにしている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 家庭・地域での実践につながる工夫

- 5年「食べて元気!ご飯とみそ汁」みそ汁の調理過程において、ポイントを3、吹き出しを2示し、そのうち、思考を促す問いかけを3示している。
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」いためる調理過程において、おいしくいためる調理のポイントを4(10項目)示している。
- 5年「持続可能な社会へ物やお金の使い方」実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介を掲載するとともに、発展として、インターネットでの買い物について、注意喚起を行っている。
- 6年「あなたは家庭や地域の宝物」では、学習のめあてを以下の順で示している。
 - ・ 自分の家庭生活と地域の人々との関わりについて考えよう。
 - ・ 2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。
 - ・ 家庭科で学んだことを、持続可能な社会をつくるために生かしていこう。

視点⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫

- 学習過程を「1見つめよう」、「2計画しよう・実践しよう」「3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3段階で示している。
- 「A(4)家族・家庭生活についての課題と実践」について、実践の進め方を1ページで示し、学習過程は「1課題の設定」「2計画」「3実践」「4まとめ・発表」「5評価・改善」の5ステップで示している。
- 生活の課題と実践例を3示し、進め方に沿った具体的な方法を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 判型A4版 149ページ(A領域21ページ、B領域95ページ、C領域25ページ)
- 題材数 5年:8題材 6年:7題材
- 快適な着方や住まい方の学習は、1学年で、2つの題材を通して学習する流れである。
 - ・ 6年「夏をすずしくさわやかに」10ページ
 - ・ 6年「冬を明るく暖かく」6ページ

視点⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫

- 「深める」活動として、家庭・地域での実践につながる内容を示している。
- 発展的な学習を示している。
- キャリア教育の視点から、仕事をしている人へのインタビューを10示している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 表紙に、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の学習場面を描いている。
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」いためる調理過程において、野菜の切り方と実物大の大きさについて、写真とイラストで示している。
- 折り込みで示している生活の営みに係る見方・考え方の視点と教科書に使われているマークは、どのページにおいても開いたまま活用できるようになっている。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 児童が学習の中で、考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したり、学んだことを活用して深めたりするために「活動」というマークを示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- めあては、題材の導入において、学習の流れとともに示している。
- 振り返りは、題材の最後に、「学習をふり返ろう」として、学習のめあてのチェック欄への記入を指示し、「生活に生かそう」として、児童の記述欄を設けている。

視点② 持続可能な社会につながる内容の扱い

- 「持続可能な社会」のマークを14示し、この視点で題材を作成している。
- SDGsの説明は、巻頭の一部で扱い、関連ページを紹介している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 調理実習の事例を示している。
- 製作課題の事例を示している。
- 実習ごとに「できたかな」として、振り返りの視点とチェック欄を設け、児童が自己評価できるようにしている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 家庭・地域での実践につながる工夫

- 5年「食べて元気に」みそ汁の調理過程において、吹き出しを6示し、そのうち、思考を促す問いかけを3示している。
- 6年「できることを増やしてクッキング」加工食品と野菜をいためる調理過程において、おいしくいためるためのポイントを3、吹き出しを3示し、思考を促す問いかけを1示している。
- 5年「生活を支える物やお金」実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介と、そこで働く人のインタビューを掲載している。また、具体的な事例に対する解決へのヒントを示し、注意喚起を行っている。
- 6年「共に生きる地域での生活」では、学習のめあてを以下の順で示している。
 - ・ 自分も、地域の中で生活する一員であることに気づく。
 - ・ 地域に暮らすさまざまな人たちとよりよいかかわり方を考え、行動することができる。
 - ・ よりよいかかわりをつくるために、地域での取り組みを工夫して続ける。

視点⑤ 課題解決をする力を養う学習過程の工夫

- 学習過程を「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」の3段階で示している。
- 「A(4)家族・家庭生活についての課題と実践」について、実践の進め方を1ページで示し、学習過程は「1課題を決める」「2計画を立てる」「3実せんする」「4実せんをふり返る」「5実せんの評価と改善策」の5ステップで示している。
- 生活の課題と実践例を5示し、進め方に沿った具体的な方法を例示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 判型A4版 153ページ（A領域19ページ、B領域90ページ、C領域34ページ）
- 題材数 5年：11題材 6年：9題材
- 快適な着方や住まい方の学習は、2学年で、4つの題材を通して学習する流れである。
 - ・ 5年「着方の工夫で快適に」4ページ ・ 5年「暖かい住まい方で快適に」4ページ
 - ・ 6年「衣服の手入れで快適に」6ページ ・ 6年「すずしい住まい方で快適に」6ページ

視点⑦ 生活をよりよくしようとする工夫及び発展的学習に関する工夫

- 「生かす・深める」活動として、家庭・地域での実践につながる内容を示している。
- 発展的な学習を示している。
- キャリア教育の視点から、仕事をしている人へのインタビューを21示している。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 表紙に、「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の学習場面を描いている。
- 6年「できることを増やしてクッキング」加工食品と野菜をいためる調理過程において、野菜の切り方をイラストで示し、裏表紙に写真で示している。実物大の大きさについては、巻末折り込みに写真で示している。
- 折り込みで示している生活の営みに係る見方・考え方の視点と、学習の流れ、栄養素の働きによる食品の分類は、どのページにおいても開いたまま活用できるようになっている。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 児童が学習の中で、考えたり、調べたり、話し合ったりするために、「考えよう」「調べよう」「話し合おう」「やってみよう」「見つめよう」という項目を四角囲みで示している。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「人の役に立ちたいとは考えているが、地域において、日常生活の中から問題を見いだして、主体的に課題を解決しようとする能力の育成」「家族や地域の一員として、自覚をもち、家族や地域の人々と主体的に関わろうとする態度の育成」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ みそ汁の調理過程において、効率的に作ったり、他の調理にも生かしたりすることができる内容等をポイントとして吹き出しで示している。
- ・ 地域での実践につながる学習については、学習のめあてを「地域の中の一員であることに気付く」「地域でのよりよいかかわり方を考える」「地域での取り組みを工夫する」としており、児童が地域の一員として身近なことについて考えたことを実践し、振り返りを行いながら継続して取り組む学習の流れになっている。
- ・ 物やお金の使い方についての学習では、実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介と、そこで働く人のインタビューを掲載している。また、具体的な事例を取り上げ、「買うときには表示をしっかりと見よう」などと、解決へのヒントを示し、注意喚起を行っている。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ みそ汁の調理過程において、味をよくするための内容等を、ポイントとして吹き出し等で示している。
- ・ 地域での実践につながる学習については、学習のめあてを「地域の人々との関わりについて考える」「地域をよりよくする工夫を考える」「持続可能な社会をつくるために生かす」としており、児童が地域の一員として身近なことについて考えたことを提案書にまとめる学習の流れになっている。
- ・ 物やお金の使い方についての学習では、実践につながるトラブルへの対応として、消費者センターの紹介を掲載している。また、発展として、インターネットでの買い物について、注意喚起を行っている。